

1 地域貢献情報

当会は、高知県を事業区域として、地元のJA等が会員となり、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としています。当会では資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することにより、JA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

(1) 店舗体制

JAバンク高知は、県内JA・信連の71の店舗と150台のATMを配置し、地域の皆さまにより身近な金融機関としてご利用いただいています。なお、JAバンク高知の店舗網・ATM設置一覧については、JAバンク高知のホームページ[アドレス <https://www.jabank-kochi.jp>]『店舗・ATM検索』をご覧ください。

(2) JAバンク自己改革の取組み

「不断の自己改革」として「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の3つの基本目標への挑戦に取り組むとともに、自己改革実践サイクルを着実に進め、自己改革を支える「経営基盤の確立・強化」に取り組んでいます。

特に、「農業者の所得増大・農業生産の拡大」に対しては、JAおよび中央会・他連合会等と連携して運営しているJAグループ高知県域担い手サポート連絡協議会を中心にJAグループが一体となって、多様化する担い手農業者のニーズに対応した支援を行っています。

また、JAバンク高知ならではの総合事業を最大限活かした価値提供として、「農業・くらし・地域」の各領域において資金供給を中心にコンサルティング機能を含めた金融仲介機能が発揮できる態勢の構築・強化に取り組んでいます。

(3) 地域からの資金調達状況

① 貯金残高

766,735 百万円(令和 7 年 9 月末現在)		
【内訳】	会員等(JAおよびJAの組合員等)	703,953 百万円
	地方公共団体等	51,245 百万円
	その他	11,537 百万円

(4) 地域への資金供給状況

① 貸出金残高

95,291 百万円(令和 7 年 9 月末現在)		
【内訳】	会員等(JAおよびJAの組合員等)	390 百万円
	地方公共団体等	79,898 百万円
	金融機関	10,206 百万円
	その他	4,796 百万円

② 農業融資取扱状況

各種制度資金の融資残高(令和7年9月末現在、JAバンク高知全体)	
農業近代化資金	4,821 百万円
日本政策金融公庫(農林水産事業)資金	9,064 百万円

③ 地域農業者に対する資金メニュー(JAバンク高知)

(i) JAバンク高知主要資金

【設備・運転資金】				
<input type="checkbox"/> 農業近代化資金	<input type="checkbox"/> アグリマイティー資金	<input type="checkbox"/> JA営農ローン	<input type="checkbox"/> 担い手応援ローン	
<input type="checkbox"/> 農業経営改善促進(スーパーS)資金	<input type="checkbox"/> アグリアシスト資金	<input type="checkbox"/> JA新規就農応援資金		等
【災害資金】				
<input type="checkbox"/> JA災害支援資金	<input type="checkbox"/> JA災害支援資金(設備資金型)	<input type="checkbox"/> JA災害支援資金(運転資金ワイド型)		等

(ii) 日本政策金融公庫(農林水産事業)資金

<input type="checkbox"/> 農業経営基盤強化(スーパーL)資金	<input type="checkbox"/> 経営体育成強化資金	<input type="checkbox"/> 青年等就農資金	<input type="checkbox"/> 農林漁業セーフティネット資金	等
--	------------------------------------	----------------------------------	---	---

④ 地域密着型金融への取組み(中小企業等の経営改善および地域活性化のための取組みを含む)

■ 農山漁村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資に関する研修・通信教育・業務検定試験等の体系化を図り、JA職員の人材育成に努めるとともに、農業融資資格制度の導入により「JAバンク農業金融プランナー」の育成に取り組んでいます。

また、多様化する農業者の規模・形態・経営状態に応じた金融ニーズに対して、適切な資金提供ができるよう農業資金体系の充実を図るとともに、商談会等のビジネスマッチングの提案が行えるよう、渉外担当部署がJAと連携し、多様なニーズに応える態勢整備に取り組んでいます。

■ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した資金供給手法の徹底

JAバンクの果たすべき役割として、農業者の経営の安定・成長に向けた取組みを実現するため、金融仲介機能として「担い手コンサルティング」活動を展開しています。具体的には、金融機関として経営の将来性等を踏まえた事業性評価を実施し、そこで可視化された経営課題について、農業融資およびJAの営農経済事業を通じた解決策を提案するなど、他の地域金融機関と異なる特色のある施策として展開しています。

また、農山漁村等地域への融資について、不動産担保や個人保証に過度に依存しないよう、保証機関の利用促進を図るとともに、保証機関の保証を付さない場合は融資対象物件以外の担保徴求は可能な限り避けることとしています。さらに、「経営者保証に関するガイドライン」の施行により、経営者保証契約の締結を求めない可能性について検討し、主たる債務者の意向も踏まえた上で、保証契約締結の要否を判断することとしています。

(5) 文化的・社会的貢献活動に関する事項

■ 県域金融相談センター

JAバンク高知として県域金融相談センターを開設しました。県内JAの組合員および利用者向けに、士業者等による各種セミナーや相談会を開催し、年金・相続をはじめとしたご相談をお受けしています。

■ 食農教育活動への支援

JAバンク食農教育応援事業の一環として、次世代への農業の理解を深めるため、「農業と食・環境・金融」をテーマとした教材本を高知県教育委員会、及び県内小学5年生を対象に配布しました。

また、JAが子どもに対する食農・環境保全・金融経済等の教育活動を行う場合に、JAグループ高知県域担い手サポート連絡協議会から助成を行い、JAの食農教育活動を側面から支援しています。

■ 花壇整備および花の種、球根の寄贈

緑豊かな街づくりを目指して公共施設の花壇整備に取り組むとともに、高知市が企画する環境保全活動に対し、JAバンク高知として花の種と球根を寄贈しています。

■ JAが主催する地域活動への支援

地域社会に貢献するため、JAバンク地域活動支援要領に基づき、JAが県内各地で開催する地域農業への理解促進のための取組みを支援しています。

■ 地域行事への協賛

食のまつり「土佐の豊穰祭 2025」に協賛し、地域社会とのつながりの強化を図るとともに、地域農業の理解促進に努めています。

■ 市町村PR活動への支援

農業・地域の成長支援として、食農バリューチェーンの構築等に市町村と連携して取り組み、地方創生・地域活性化に寄与することを目的として、JAグループ高知の運営する「とさのさとアグリコレット」を活用して市町村が実施する「地域の魅力を発信するイベント活動等」に対し、その活動費用の一部助成を行っています。

■ 赤ちゃんハイハイレースの開催支援

子育て世代とのつながり強化を目的として、地元のテレビ放送局が主催する「すくすく赤ちゃんハイハイレース」に、JA共済連高知とともに協賛しています。

■ 自然災害等にかかる支援

自然災害等により被害に遭われた農業者に対し、適切な資金提供ならびに利子の助成ができるよう、災害支援制度による対応を行っています。

■ 移動店舗車両

事業継続計画(BCP)対策の一環として、震災等の緊急時においても利用者に対する金融機能の維持を図るため、移動店舗車両を導入しています。緊急時以外においては、県内JAの中山間地域等に出向き、金融サービスの提供を行っています。

(6) お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。当会は農業者および地域の企業・住民のための協同組織金融機関として、①農業の健全な発展、②豊かな国民生活の実現、③地域社会繁栄への奉仕に資するため、その社会的責任と公共的使命を自覚し、地域発展のために尽力してまいります。

2 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
貯金	766,735	778,474	834,887
貸出金	95,291	91,696	91,151
預け金	389,841	417,400	467,006
有価証券	269,813	257,529	253,696

(注記) 1 有価証券は、時価会計の適用により、保有区分が「その他の有価証券」については期末の時価を適用しています。

3 損益の状況

(単位:百万円)

	令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
経常利益	1,517	356	1,073
当期剰余金	1,111	248	798

4 単体自己資本比率

(単位:百万円)

項目	令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
自己資本	66,544	65,538	66,124
リスク・アセット等	403,421	393,546	400,932
自己資本比率	16.49%	16.65%	16.49%

(注記) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しています。

5 農協法及び金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

区分	令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5	5	0
危険債権	131	130	141
要管理債権	－	－	9
三月以上延滞債権	－	－	9
貸出条件緩和債権	－	－	－
小計	137	136	151
正常債権	96,261	92,718	92,185
合計	96,399	92,855	92,337

6 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位:百万円)

区分	令和7年9月末			令和7年3月末			令和6年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
売買目的	－	－	－	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	33,140	30,096	△ 3,044	33,074	30,568	△ 2,506	28,975	28,235	△ 740
その他	249,468	236,673	△ 12,795	238,177	224,455	△ 13,722	235,905	224,720	△ 11,185
合計	282,608	266,769	△ 15,839	271,251	255,023	△ 16,228	264,880	252,955	△ 11,925

- (注記) 1 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。
- 3 満期保有目的の債券については、取得価額を貸借対照表価額として計上しています。
- 4 その他有価証券については、時価を貸借対照表価額としています。

【金銭の信託】

(単位:百万円)

区分	令和7年9月末			令和7年3月末			令和6年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	－	－	－	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	12,424	12,627	203	19,124	18,849	△ 275	26,049	25,803	△ 246
合計	12,424	12,627	203	19,124	18,849	△ 275	26,049	25,803	△ 246

- (注記) 1 9月末の金銭の信託の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託またはその他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

以上